

令和2年5月18日
公益社団法人 日本軽種馬協会

フォーティナイナー号の死亡について

静内種馬場で功労馬として繋養されていたフォーティナイナー（35歳）
父：ミスタープロスペクター 母：ファイルが令和2年5月18日、12時30分
老衰のため死亡いたしました。

本馬は現役時代2歳時G1・2勝を含む重賞4連勝、6戦5勝の成績をあげ米国2歳牡馬チャンピオンに選出されました。3歳時にはトラヴァーズSなどG1・2勝など通算成績19戦11勝をあげ、引退後米国にて供用を開始しました。種牡馬としては1996年に北米リーディングサイアーに輝きました。1996年に日本に輸入され静内種馬場で供用を開始、2007年静内種馬場での供用を最後に種牡馬を引退し、静内種馬場で功労馬として余生を送っていました。

国内ではマイネルセレクト、ユートピア、アドマイヤホープがG1に優勝、母の父としても皐月賞馬エポカドーロを輩出するなど多くの活躍馬を送りだしました。また、海外ではディストーテッドヒューマー、国内ではエンドスウィープ、サウスヴィグラス、スウェプトオーバーボード、アドマイヤムーンなどを経て父系を広げています。

（場長のコメント）

5月11日、35回目の誕生日を迎え、多くのファンにお祝いのメッセージをいただいたところでしたが、突然の別れとなり誠に残念です。このような世界的な名馬を日本に導入し、そして管理することが出来たことに感謝しています。種牡馬の管理の難しさ、厳しさ、そして楽しさを教えてくれた種牡馬でした。これまでありがとうございました。心よりご冥福をお祈りいたします。